

Ⅲ 徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

【基本理念】

私たちは、こどもたちが児童憲章のもと、その人権を重んじ、幸せになることを願い、よりよい養育環境の提供に努めます。

【基本方針】

- 1 こどもたち一人ひとりの思いを汲み取り、安心して生活できる環境を提供します。
- 2 こどもたちとのふれあいを深め、豊かな愛着関係を築きます。
- 3 こどもたちの体調の変化に留意し、健康管理に努めます。
- 4 こどもたちが家庭に戻り、安定した生活を送れるように支援します。
- 5 ボランティアや地域と連携し、養育の専門性を活かした子育て支援に努めます。
- 6 職員は、専門職としてのより深い知識と確かな技術を身につけます。

Ⅲ 徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

1 乳児院の概要

(1) 沿革

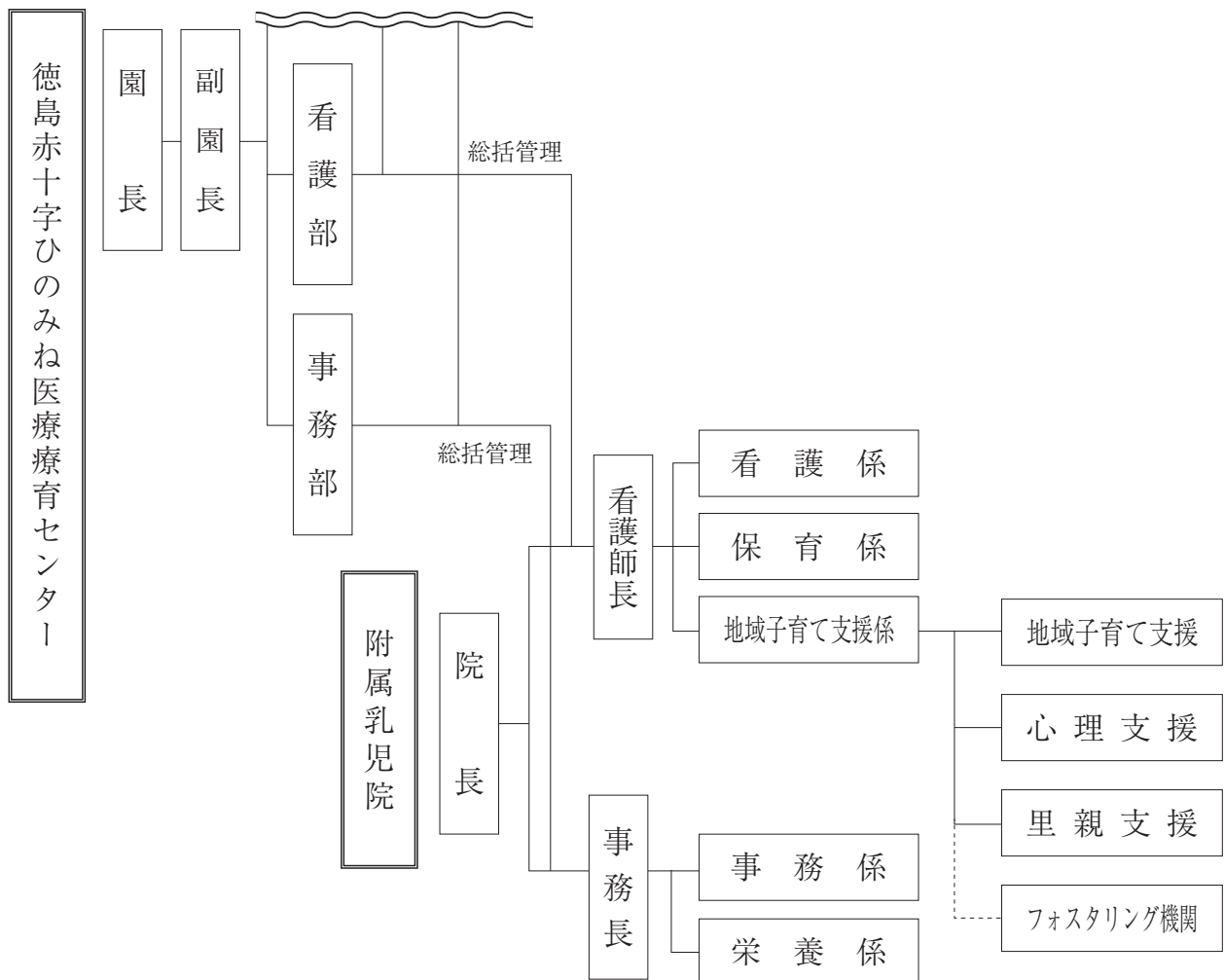
年 月 日	事 項
昭和28. 3. 31	徳島県により設置 建築落成（延べ面積288.75㎡）
6. 1	児童福祉法第37条の乳児院として許可（定員30名） 日本赤十字社徳島県支部に運営を委託（小松島赤十字病院が運営に当たる。）
8. 1	徳島県立徳島乳児院 開院
37. 5. 30	浩宮殿下ご誕生記念として遊戯室を新築（建坪66㎡）
40. 4. 1	小松島赤十字病院の運営より離れ日本赤十字社徳島県支部管理となる。
42. 4. 1	定員35名に増員
47. 6. 30	乳児院舎屋老朽と入所児童の増加のため改築工事落成（延べ面積1,059.55㎡）
7. 1	定員45名に増員
平成8. 4. 1	地域における公益的な活動として ショートステイ事業、病児・病後児保育事業実施
16. 4. 1	小規模グループケア開始（1ユニット）
18. 4. 1	徳島赤十字乳児院 と改称 （徳島県から施設移管を受け、日本赤十字社徳島県支部が開設）
20. 4. 1	地域の子育て支援の取組として 「子育てスペースにこにこほっぺ」事業開始
24. 4. 1	発達障がい者総合支援ゾーンの施設として移転改築（延べ面積1,277.40㎡） 小規模グループケア2ユニットへ
26. 4. 1	里親支援専門相談員の配置 小規模グループケア3ユニットへ
令和3. 4. 1	徳島県フォスタリング（里親養育包括支援）事業を受託
5. 4. 1	徳島県支部管内社会福祉施設における組織統合により、徳島赤十字ひのみね医療療育センターの附属施設となる 徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院 と改称

(2) 施設の概要

- ① 所在地 小松島市中田町字新開 2 番地 2
- ② 設置主体 日本赤十字社
- ③ 経営主体 日本赤十字社徳島県支部
- ④ 設置年月日 平成24年 4 月 1 日
- ⑤ 施設の規模 鉄筋コンクリート造 3 階・地下 1 階
1 階部分 延べ面積1,277.40㎡
- ⑥ 定員 45名
令和 4 年度暫定定員 33名
令和 5 年度暫定定員 33名予定

(3) 組織図（令和 5 年 4 月 1 日現在）

※組織統合にともない、附属乳児院の部分を抜粋して表示



徳島赤十字ひのみ医療療育センターの事務部長・看護部長は、総括管理を兼ねる

(4) 職 員 数

(令和5年4月1日現在)

職 種 別	定 員	現 員	備 考
院 長	1 人	1 人	
医 師	1	1	
直接処遇職員	20	5	3歳以上児3人につき職員1人配置 2歳児2人につき職員1人配置 2歳未満児1.3人につき職員1人配置 看護師は、定員10人の場合は2人以上 10人を超える場合は10人増すごとに1人以上
		15	
病児保育	1	1	看護師 利用児童概ね10人につき1人配置 保育士 利用児童概ね3人につき1人配置
	1	1	
家庭支援専門相談員	1	1	
里親支援専門相談員	1	1	
小規模グループケア	3	3	
個別対応職員	1	1	
心理療法担当職員	1	1	
管 理 栄 養 士	1	1	
調 理 師	4	4	定員30人未満は職員4人 30人以上10人ごとに1人加算
業 務 員		1	
事 務 員	1	1	
フォスタリング委託事業	1	1	
合 計	38	39	

※機能強化のための専門職員

- 家庭支援専門相談員…複雑な家庭環境等への専門的な関わりで家庭引取を目指す
- 心理療法担当職員…情緒面で不安定になっている子どもの支援を行う
- 里親支援専門相談員…里親委託を目指し支援を行う
- 個別対応職員…虐待で心や身体が傷ついた子どもに対し意図的に個別援助を行う

2 事業の実施状況

(1) 事業の概要

さまざまな理由により家庭で育てることのできない乳幼児を養育する県内唯一の児童福祉施設として、目の前の子どもを守るため関係機関と連携を図り、家庭での養育が困難な乳幼児や、一時保護児の受け入れを積極的に行った。

養育においては「子どもの最善の利益」を念頭に、できる限り家庭に近い環境の提供や、担当養育制、個別対応などを行い愛着形成や発達促進を図った。

里親養育包括支援（フォスタリング機関）事業では、里親制度を知っていただくための広報活動に重点を置き、里親登録数の増加につなげた。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、抗原定性検査の実施や基本的な感染対策、体調・周辺状況の聞き取りなどを徹底し、感染対策に努めた。

(2) 重点事項

① 入所児童の養育とその家庭支援への取り組み

ア. 小規模グループケア・個別対応の実施

児童4～6人を1つの養育単位として小規模化し、落ち着いた環境で安定した生活リズムといとなみによって、入所児童へのより厚いケアを行い、家庭に近い環境での養育を行う「小規模グループケア」を3グループ実施し、家庭から受ける愛情の実感や、愛着形成の再構築を行い、より豊かな感性や人間性の向上に努めた。



イ. 幼稚園体験教育

「キッズルーム わくわく」

3歳以上の年齢の高い児に対し、普段とは異なる環境で季節行事や体験教育を行い、家庭で養育されている児にできるだけ近い社会経験を積むことで、社会性や生きる力、創造する力を習得できるよう努めた。



サンタへの手紙



ウ. 持続性を育てる保育の充実

日常保育と異なる活動の時間を設け、壁新聞を作成することによって、体験記憶を職員と共有し、幼少期の記憶・思い出の定着（持続性を育て、生き立ちの整理につなげること）が促されるよう、保育の充実を図った。



エ. 病虚弱児の対応

2名の病虚弱児に対し、健康管理に努めるとともに、児童に応じたきめ細かな養育を行った。

オ. ボランティアの受け入れ

ご本人の体調や周辺状況の聞き取りなどを徹底し、保護者との面会が望めない児童に対し、1名の面会ボランティアに活動いただいた。

また、お散歩や外遊び、草抜きなどの環境整備活動など屋外での活動を中心に3名延べ31日の支援をいただいた。

② 地域の子育て支援への取り組み

ア. 子育て短期支援事業（ショートステイ）

県内全域を対象に、保護者の病気や出産、就労、冠婚葬祭等の社会的事由により、一時的に養育困難となった乳幼児のショートステイを行った。

【利用状況】

	実利用市町村数	利用実人数	利用延べ人数
令和4年度	10（5市5町）	36人	245人
令和3年度	10（5市5町）	22人	139人

イ. 病児保育事業

12市町村を対象に、入院治療は要しないが保護者の就労や保育所等における集団保育が困難な児童を預かり、病児室で保育を行った。

【利用状況】

	利用実人数	利用延べ人数
令和4年度	24人	85人
令和3年度	46人	81人

ウ. 子育てスペースにこにこほっぺ・ハローベビーすくすく

季節のイベントを通じて、地域での子育て仲間づくりや専門性を活かした

育児相談の場を提供し、保護者支援をおこなった。

また、見守りを必要としている特定妊婦・要支援家庭や新たに里子の委託を受ける里親に向けて、離乳食の作り方や沐浴、オムツ替えの体験指導をおこなった。

参加者延数（人）	にこにこほっぺ		ハローベビーすくすく	
	回数	人数	回数	人数
令和4年度	6回	71人	4回	4人
令和3年度	4回	40人	2回	2人

③ 里親養育包括支援（フォスタリング）事業の実施

新しい社会的ビジョンや徳島県子ども未来応援プラン等の計画に基づき、里親のリクルートから研修、委託後の支援に至るまでの一貫した里親支援（フォスタリング業務）をおこなった。

児童相談所や関係機関と連携し、2組の里親委託につながった。

ア. 里親制度等普及促進・リクルート事業

里親制度等の社会への理解を深めるため、県内各地で4回の説明会を実施するとともに、広報資料を作成し、関係機関や保健センター、子育て支援拠点、スーパー等に引き続き設置依頼をした。

また、里親会主催による里親映画の上映会や、新聞等を活用し積極的な啓発活動を行った。



イ. 里親研修・里親トレーニング等事業

里親登録及び登録の更新に必要な研修を実施した。

(a) 基礎研修

制度や子どもの養育についての研修・実習を実施し、講義及び実習にそれぞれ31名、が参加した。

(b) 登録前研修

基礎研修を修了し、里親登録を希望される方に対し、研修と実習を実施し、講義に延べ29名、実習に46名が参加した。実習への参加しやすい環境をつくるため、受け入れ施設を増やし選択肢を広げた。

(c) 更新研修

5年ごとに必要な更新研修を実施し、講義に16名、実習に3名が参加した。

ウ. 里親委託推進等事業

里親等への委託にあたり、里子と里親の交流や関係調整を、2名延べ29回行った。

エ. 里親訪問等支援事業

現に子どもを養育している里親等からの相談に応じるとともに、里親等を9名延べ14回訪問し、相談や助言を行った。未委託の里親に対しても8件訪問を行い、現状に対する考え方の確認等を行った。

また、里親へのレスパイト・ケア（休息）のため、子どもに応じた委託先を調整し、合計22回延べ91日間の調整を行った。

乳児院では17回51日間の受け入れを行った。



④ 発達障がい者総合支援ゾーンでの連携

発達障がい者総合支援ゾーンは令和4年度10周年を迎えた。乳児院は子育て面での支援を担い、ゾーンでの連携を引き続き行った。

入所児童の社会性向上を図るため、感染予防に配慮しつつ、野菜の収穫などの野外活動や合同避難訓練を行った。



⑤ 広報活動

乳児院の事業内容を広く周知するため、広報誌「やっとさー！」及び地域子育て支援事業紹介チラシを幼稚園や施設に配布した。

また、乳児院事業の「見える化」を図るため、Twitterで178回の情報発信を行うとともに、新聞取材依頼や赤十字新聞等への投稿に努めた。

(3) 在籍児童の状況

① 延べ人数

		令和4年度	令和3年度
在籍児童数		8,918 人	9,126 人
内訳	措置児	8,088	8,382
	一時保護児	774	650
	里親レスパイト	56	94

② 在籍児童の性別及び月齢

(令和5年4月1日現在)

月 齢	男	女	合計	構成比
3ヶ月未満	0 人	0 人	0 人	0.0 %
3ヶ月～6ヶ月未満	1	0	1	4.8
6ヶ月～1歳未満	2	0	2	9.5
1歳～1歳6ヶ月未満	2	0	2	9.5
1歳6ヶ月～2歳未満	1	0	1	4.8
2歳以上	6	9	15	71.4
合計	12	9	21	100.0

※構成比は少数第2位を四捨五入

③ 管轄地域別在籍児童の状況

(令和5年4月1日現在)

管轄地域別	男	女	合計
中 央	8 人	7 人	15 人
南 部	1	2	3
西 部	1	0	1
県 外	2	0	2
合 計	12	9	21

(4) 入所児童の状況

① 入所理由

入 所 理 由		令和4年度	令和3年度
虐 待	心理的虐待	1 人	人
	ネグレクト	1	4
養 育 困 難		4	1
父 ・ 母 受 刑			
就 労 (借 金 ・ 貧 困)		1	1
母精神障害 (知的障害含)		1	
育 児 疲 れ			1
児 童 自 身 の 障 害			1
そ の 他		1	
合 計		9	8

② 入所時の月齢

月 齢	令和4年度	令和3年度
1 ヶ 月 未 満	3 人	0 人
1ヶ月～3ヶ月未満	1	2
3ヶ月～6ヶ月未満	0	0
6ヶ月～1歳未満	1	1
1 歳 以 上	4	5
合 計	9	8

(5) 退所児童の状況

① 退所児童の退所理由

退 所 理 由	令和4年度	令和3年度
家 庭 引 取	3 人	6 人
里 親 委 託	2	3
他 の 施 設 に 移 管	3	4
そ の 他	0	0
合 計	8	13

(6) 決算状況

① 総括

区分	当初予算額	補正予算・流用額	計	決算額	予算現額に比し増減
収入	392,227,000円	0円	392,227,000円	387,018,506円	△5,208,494円
支出	314,961,000円	0円	314,961,000円	308,233,339円	6,727,661円

収入支出差引額 78,785,167円

※収入決算額には、前期末支払資金残高 77,784,976円を含む。

② 事業活動による収入及び支出

科目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額	伸び率
措置費収入	263,655,889円	278,117,634円	△14,461,745円	△5.2%
私的契約利用料収入	466,640	269,760	196,880	73.0
補助金事業収入	5,090,000	1,177,000	3,913,000	332.5
受託事業収入	14,742,560	14,263,520	479,040	3.4
経常経費寄附金収入	80,000	167,560	△87,560	△52.3
受取利息配当金収入	0	0	0	-
その他の収入	198,000	80,000	118,000	147.5
収入計	284,233,089	294,075,474	△9,842,385	△3.3
人件費支出	227,073,700	206,699,431	20,374,269	9.9
事業費支出	18,089,647	14,762,951	3,326,696	22.5
事務費支出	12,469,042	12,698,319	△229,277	△1.8
流動資産評価損等による資金減少額	0	16,800	△16,800	-
支出計	257,632,389	234,177,501	23,454,888	10.0

③ 施設整備等による収入及び支出

科目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額	伸び率
施設整備等補助金収入	0円	0円	0円	-%
収入計	0	0	0	-
固定資産取得支出	1,027,950	1,060,400	△32,450	△3.1
支出計	1,027,950	1,060,400	△32,450	△3.1

④ その他の活動による収入及び支出

科 目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額	伸び率
他会計繰入金収入	1,454,185 ^円	1,273,000 ^円	181,185 ^円	14.2%
拠点区分間繰入金収入	1,988,656	0	1,988,656	-
その他の活動による収入	21,557,600	0	21,557,600	-
収入計	25,000,441	1,273,000	23,727,441	1,863.9
積立資産支出	41,500,000	53,000,000	△11,500,000	△21.7
他会計繰入金支出	0	65,827	△65,827	-
拠点区分間繰入金支出	85,839	1,343,618	△1,257,779	△93.6
その他の活動による支出	7,987,161	8,224,674	△237,513	△2.9
支出計	49,573,000	62,634,119	△13,061,119	△20.9

⑤ 当期末支払資金残高

科 目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額	伸び率
事業活動資金収支差額	26,600,700 ^円	59,897,973 ^円	△33,297,273 ^円	△55.6%
施設整備等資金収支差額	△1,027,950	△1,060,400	32,450	△3.1
その他の活動資金収支差額	△24,572,559	△61,361,119	36,788,560	△60.0
予備費支出	0	0	0	-
当期資金収支差額合計	1,000,191	△2,523,546	3,523,737	△139.6
前期末支払資金残高	77,784,976 ^円	80,308,522 ^円	△2,523,546 ^円	△3.1%
当期末支払資金残高	78,785,167	77,784,976	1,000,191	1.3

